



2026 年 5 月 14 日 (木) 第 15 回例会

【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会 長 時 間



ロータリーは自己研鑽の場です。みなさんこんばんは。

5 月は国際ロータリーが定める「青少年奉仕月間」です。ロータリーが青少年の育成に乗りだしたのは 1916 年に青少年活動委員会を設立したときですから、ロータリーは随分古くからこの分野に関わっています。1974 年には「青少年交換プログラム」が始まり、その後、1996-97 年度のルイス・ジアイ RI 会長は、「次の世代を準備することによって未来を築こう。」と述べられ、新しい世代の育成に関してロータリアンの注意を喚起されました。2010 年には従来の四大奉仕に「新世代奉仕」が加わって現在の五大奉仕となり、2013 年には「新世代奉仕」を「青少年奉仕」と改称し現在に至っています。

ロータリーは、将来出現するであろう様々な問題を解決する主役は青少年であるとして、そのために青少年に対する奉仕を重視し、その育成に力を注いでいます。

ロータリー章典によると、青少年奉仕には、青少年に対して高い道徳的判断を奨励すること、青少年の願望や関心を理解すること、地域でプログラムを実施することで青少年に機会を提供すること、RI が提供する人道的、指導力養成、教育関連のプログラムへの青少年の参加を奨励することが含まれます。（「青少年奉仕の基本方針」：ロータリー章典 8.050.）

これを実現するための具体的なプログラムは、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換などです。インターアクトクラブはロータリークラブが支援して設立され、12 歳から 18 歳までの中高生が地元での奉仕活動や海外のインターアクターとの交流によって国際感覚を養うものです。ローターアクトクラブはやはりロータリーが提唱する 18 歳から 30 歳までを対象とする奉仕クラブで、2020 年からは、ローターアクトはロータリーの中でロータリアンと同等の権利を持つとされ、正式にロータリー会員数に算入されるようになりました。今年度、当地区には 6 つのローターアクトクラブがあり、そのうち広島では、広島ロータリークラブ、広島中央ロータリークラブ、そして東広島 21 ロータリークラブの 3 クラブがローターアクトクラブを提唱しています。RYLA は青少年が合宿形式で楽しみながらリーダーシップスキルを磨くプログラムです。そして、ロータリー青少年交換は、15 歳から 19 歳までの学生が 1 年間の長期交換または数日から数ヶ月の短期交換で、言語や異文化を学ぶプログラムです。

当クラブは、青少年奉仕と平和貢献を 2 つの大きな柱としています。以前から申し上げているように、設立した今年度は、ロータリーについての基礎知識をできるだけお伝えして、ロータリーになれていただく年度としましたが、いよいよ次年度からは、積極的に対外的奉仕を実践していきます。

まだ構想段階ではありますが、まず、クラブ単体で RYLA を開催すること。RYLA は先程申したとおり、青少年が合宿形式で楽しみながらリーダーシップスキルを磨くプログラムです。通常は地区が主催し

ますが、クラブが主催する場合もあり、そのクラブの実施担当者から多くのアドバイスや情報を得ています。ます。当地区では前例がありません。当クラブはこれを次年度に実現させたいと考えています。

次に、これも構想段階ですが、長崎、沖縄のクラブと合同で、平和貢献活動をしたいと思っています。たとえば、先日のクラブ協議会でアイデアが出たように、青少年を対象に、平和とは何かをディスカッションする催しなどを、ゲストスピーカーを招いて行うなどです。

さて、当クラブが立ち上がって8ヶ月が経過しましたが、ロータリークラブって何？とか、色んな疑問、また、よくわからない不安、いろいろな事が聞こえてくるようになりました。僕自身も、新しいクラブを立ち上げてみて初めて、ものまねではなくクラブ独自の存在意義や運営方法を軌道に乗せることがいかにたいへんかを、身にしみて感じています。そこでクラブの運営の話を少ししておきたいと思います。

会員のほとんどがロータリー未経験者であり、また、経験者であっても、クラブが違えば方法や主義が異なることもあり、初年度はとにかく、ロータリーになれ学んでいただく期間と位置づけました。先日メールでお願いしたとおり、どうかこれまでの資料を何度も見直してみてください。自分勝手な思いこみでロータリーを定義しないで下さい。そして、その課程で、疑問や不満を感じられることもあるかもしれませんが、それを是非忘れないで、次年度以降の発言の機会をお待ちください。皆さんが抱かれるかもしれない不満や疑問に関しては近日中に窓口を設ける予定です。

ロータリークラブは全会員による合議制ではありません。皆さんの同意を得て選出された理事が責任を持って運営を受託するのがロータリーです。従って、皆さんのご意見の全てが実現するとは限りません。それでも、是非ご意見を理事にお伝えください。理事会が責任を持って協議に決めさせていただきます。

そして、当クラブでまだしっかり定義されていないのが、理事会決定事項や地区情報などの共有についてです。多くのクラブでは、理事会決定事項を誰がいつどのように一般会員の皆さんに伝達するかルールを持っていますが、当クラブはまだそのルールを作っていません。しかし、近日中に、情報伝達についてのルールを明確にして、皆さんに必要な情報を確実に伝達することができるようにいたしますので、今しばらくお待ちください。

情報伝達に関しては、Facebookの「広島新世代ロータリークラブ」というグループに、頻繁に地区や国際ロータリーの情報を掲載していますので、是非ご覧下さい。

このように、この初年度に健全なクラブ運営の確立を目指しましたが、まだまだ足りないところがあるのが現状です。できるだけ早いうちにこれを解消して、その上で、次年度から活発で意義ある活動をしていきたいと思っていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

以上で今日の会長時間を終わります。ありがとうございました。

例 会 次 第

- ・開会点鐘
- ・国歌斉唱（各月第1例会のみ）
- ・ロータリーソングの唱和 「奉仕の理想」
- ・「四つのテスト」唱和（各月第1例会のみ）
- ・来客紹介 竹本竜平さん(6月入会予定者)
小田秀光（おだ しゅうこう）さん(入会検討者)
- ・会長時間

- ・幹事報告
- ・出席報告
- ・委員会報告
- ・例会プログラム
 会員卓話　「次年度の事業計画中間報告」
- ・閉会点鐘

幹 事 報 告

- ・次回5月28日の例会では、東京東江戸川ロータリークラブの嶋村文夫様による卓話を予定しております。多くの会員のリアル参加をお願いいたします。

出 席 報 告

本日の例会　参加会員数： 21名中17名（うちオンライン参加者5名）【出席率81%】
 来賓・来客： 0名（うちオンライン参加者0名）

委 員 会 報 告

なし

同 好 会 報 告

五紅会(ゴルフ同好会)：先日、朝ゴルフクラブにてゴルフ同好会の第1回が開催されました。参加者は、諏訪会長、伊藤さん、平本さん、榎下さん、森田さん、木坂さん、北田さんの計7名。プレーを通じてメンバー同士の交流が深まり、互いの新たな一面を知る貴重な機会となりました。

ス マ イ ル BOX

- ・諏訪昭浩さん：名札を忘れてしまいました。
- ・坂本純一さん：先週、会場に一番乗りしてしまい、少々恥ずかしかったため。
- ・谷口公啓さん：ゴルフ同好会のコンペにドタキャンしてしまいました。
- ・平本裕一郎さん：名札を忘れてしまいました。

皆さんありがとうございました！

プ ロ グ ラ ム

会員卓話

拜郷拳人さん 渡辺郁さん 「インターシティミーティング参加報告」

4月25日に呉阪急ホテルにて開催されたインターシティミーティングに、拜郷さん、渡辺さんが参加されました。チャーターナイトで名刺交換させていただいた方からのお招きがきっかけで、東京、山梨から広島まで足を運ばれたお二人。オンラインでは得られない空気感とリアルな交流を求めての参加で

した。会場では最前列中央に席をご用意いただき、温かい歓迎を感じたとのこと。岸田元総理の講演や、諏訪会長による堂々とした質疑応答の様子が特に印象的だったと振り返られました。懇親会では他クラブのメンバーから温かく迎えられ、拜郷さんからは、今後はぜひ当クラブのリアル例会にも参加したいとの意向を示してくださいました。

渡辺郁さん 「：ロータリーを通じた出会い」